「政治の私物化はダメ」「暮らしが大変」

今こそ政治を変えよう　日本共産党

新年おめでとうございます。

能登半島地震に被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げるとともに、１日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。日本共産党は現地の調査・救援活動に協力するとともに、災害救援募金へのご協力を呼びかけます。

昨年末は、自民党の裏金疑惑などが発覚。また新年度に向けて、岸田政権が軍事費を大幅に増額する一方、国民負担を増やす計画です。市政でも、市民生活を壊しかねない政治が進められようとしています。

日本共産党は、腐敗政治の一掃とともに、大幅な賃金引き上げと、福祉や教育を優先する政治の実現めざし、引き続き全力をあげる決意です。変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。



12月22日、幼児教育支援センター附属幼稚園（江戸川台）を見学する日本共産党市議団

公立幼稚園を存続し、幼児期の手厚い支援は充実を

幼児教育支援センター附属幼稚園（以下、公立幼稚園）では、幼児期の学びを小学校教育へ円滑に接続させる千葉県モデル（県内５園だけ）に選ばれ、保護者や地域住民、そして卒園生からも高く評価されています。

一方市長は、コストカットを優先し、２０２５年度末で公立幼稚園を廃園する方針です。そのために、廃園以外、専門家の議論は棚上げし、反対意見も無視。市教育委員会の歴史上初めて、賛否が分かれる中、方針が決定されました。

そもそも廃園方針は、市長選のマニフェストにも掲載せず、市の実施計画などにも記載がなく、あまりに唐突です。

保護者らは、存続を求める立場から議会に陳情書を提出。継続審査を勝ち取っています。

日本共産党は、教育現場への強権的な政治介入と政治の私物化に厳しく対決するとともに、実践に裏付けられた幼児期の手厚い支援をさらに充実させるため、最後まで市民と全力を尽くします。

幼稚園存続を求める署名にご協力ください。

ガザ地区 即時停戦求める決議 可決

市議会では、『ガザ地区への大規模軍事攻撃に抗議し、人道的立場に立って即時停戦を求める決議』（日本共産党提案）が全会一致で可決されました。

みなさんと力を合わせ実現

2023年の実績

- 学校給食無償化（第３子以降）
- 子どもの医療費助成の対象拡大（高校３年生まで）と所得制限の導入中止
- 全小中学校体育館にエアコン設置
- 既存小学校のロッカー等改修スタート
- 子どもの生活状況調査実施
- 75才以上の免許返納支援スタート
- 学校や保育園の給食食材費補助や省エネ家電買い替え促進等の物価高騰支援対策
- パートナーシップ制度の導入に向けた準備
- ＤＶ・虐待相談体制の拡充など

2023年第4回定例会　星取表

会派	日本共産党				流政会									自民党		公明党				流山みらい								
議員名 ○賛成　×反対　－棄権 ※議長は表決に参加しない。	乾　えり	高橋　光	植田　和子	小田桐　仙	小沢えみり	鈴木ゆうすけ	矢口　輝美	川本　大岳	渡辺　仁二	近藤　美保	石原　修治	坂巻　儀一	笠原　久恵	青野　直	中川　弘	海老原功一	桑畑　伴子	岡　明彦	戸辺　滋	野村　誠	宇田　桜子	清水　大	西尾　段	楠山　栄子	中村　彰男	藤井　俊行	森田　洋一	阿部　治正
議員の手当引き上げ条例改正（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
最低賃金の更なる引き上げを求める意見書（可決）	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	×		×	×	×	欠	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白みりんミュージアムの設置・管理条例（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	欠	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	○	×
医療・介護の人員増と処遇改善を求める意見書提出を求める陳情書（不採択）	○	○	○	○	×	×	×	×	欠	×	×		×	×	×	欠	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
現行保健証の存続を求める意見書（否決）	○	○	○	○	×	×	×	×	欠	×	×		×	×	×	欠	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

流山市加4-1688　TEL／FAX 04（7157）6140　メールアドレス　giindan@nagareyama-jcp.jp
ホームページ　http://www.nagareyama-jcp.jp/　流山市議会事務局　平和台1−1−1　TEL 04（7150）6099

ご意見・ご要望をお寄せください

市民目線でしっかり追及
日本共産党の4議席


小田桐たかし


植田和子


高橋あきら


いぬいえり

白みりんミュージアム 毎年4千万円の赤字

12月20日に閉会した第4回定例会。市長の政治の私物化が次々と。一方、議会のチェック機能は…



総事業費7億円に増額

白みりんミュージアムの設置・管理条例が議会で審査され、「ムダな箱物行政」の実態が浮き彫りに。

建設費は、当初4億4千万円に加え、外構・内装工事等で総額7億円にも。年間の維持管理費は5千万円に対し、収入は600万円（2万人の来場者予定）。毎年4千万円超の赤字穴埋め…税金の使い方が間違っています。

SNSで話題 通称『いざきロード』?



おおたかの森地区の道路。市長の一声で「再整備」。約3億円の経費が投入されます。

市議会 ねほり はほり

救急医療の体制構築を

保守系議員（流政会）は、夜間小児救急の改善を求める質問をする一方、医療・介護の人員増などを求める市民の陳情には反対しました。

医療従事者や医療機関への非難だけでは問題は解決しません。救急医療体制を維持・充実するための経費を増額し、安心・安全な市政をどう築くのか…市長・議員の行動力が問われています。

市長・議員の手当て増額の一方で

市長と議員の手当引き上げ条例が可決（日本共産党は反対）。市長は12万円、議員で5万5千円の手当引き上げです。一方、『最低賃金引き上げを求める意見書』は反対…市民には冷たすぎませんか?

教育 給食無償化の拡充を フリースクールの経済的支援を

今議会、市民が提出した『給食の保護者負担軽減を求める請願』が審査され、国への意見書提出が採択されました。

市独自の無償化拡大は否決されたものの、委員会審議で、第2子半額（1億5千万円）が予算上、実現可能であることも判明しました。

全国の不登校児童生徒は30万人弱（22年度末）となり、流山市でも351人（昨年10月末）と憂慮すべき事態です。

日本共産党は、フリースクールに通学する子どもへの経済的支援を提案。1人月1万円を支給しても総額180万円で実現できます。

介護医療 負担増、サービス切り捨てはストップを

来年度、介護保険料の基準額は月6千円を超えることに。また、後期高齢者医療保険料も値上げの年です。しかし、市議会で追及したのは日本共産党だけです。

日本共産党は、『介護保険制度の改善を求める意見書提出を求める陳情』に、唯一本会議で、賛成討論を行い、最後まで陳情採択を求めました。



身近な要求実現


本格的工事始まる（初石駅）
小田桐たかし


スクールゾーン入口、わかりやすくなりました（新川小学校）
植田和子


道路整備・舗装（前ヶ崎370地先）
高橋あきら


データセンター建設計画 事業者が取り下げ（平和台）
いぬいえり